

# 西葛西エリア 歳時記

## イベントスケジュール

イベント名の後に記載の数字は、えどがわ百景の番号です。裏面のマップで位置を見て下さい。

- 5月 清新町・臨海町 ふれあいまつり **57**  
葛西「四季の道」・新田地域  
ふれあいフェスティバル(新田6号公園) **61**
- 7月 金魚まつり **66**  
江戸川区原 爆犠牲者追悼式 **65**
- 8月 清新町納涼盆踊り大会 **69**
- 10月 葛西まつり(葛西区民館)  
さわやか体育祭(陸上競技場) **68**

※開催時期は変更となる場合があります



**66** 江戸情緒  
行船公園金魚まつり

**57** 新緑の清新町・臨海町  
ふれあいまつり

**65** 続く祈り滝野公園  
江戸川原爆犠牲者追悼碑

**69** 手造り祭り  
清新町納涼盆踊り大会

### 一歴史探訪一 旧葛西海岸堤防

## 海と共に生きた葛西の姿と先人たちの偉業

かつて葛西沖には遠浅の海岸が続き、魚介類の宝庫として人々に大いなる恵みを与えておりました。しかし、台風や高潮などで被害をもたらす脅威でもありました。

1949年に東京湾を襲ったキティ台風は、区内だけでも被災者6万2千人余りの甚大な被害をもたらしました。重大に受け止めた東京都は、早速堤防工事に着手、1957年に葛西海岸堤防が完成いたしました。

そのころ、東京湾の汚染は葛西沖にも押し寄せ、さらに、やむことのない激しい地盤沈下は、住民に新しいまちづくりを行う決断を強く迫りました。

葛西の人々は、勇気と決断、そして熱意で土地区画整理を断行、防潮堤の役割を兼ね備えた新たな土地を生み出しました。

こうしてかつての葛西沖は生まれ変わり、海岸堤防は、葛西の大発展を見守りながら、その役目を終えました。

※旧葛西海岸堤防の碑の解説板より抜粋



旧葛西海岸堤防

### 初の校外施設 葛西臨海寮

現在の新田小学校付近に、かつて「葛西臨海寮」がありました。子どもたちを海岸で遊ばせたいとの思いから作られた区内初の校外施設で、小・中学校の児童生徒の校外学習や海水浴・潮干狩りなどに使用されました。

昭和32年の完成から子どもたちに親しまれ、14年を経た昭和45年に廃止されました。



昭和32年時の葛西臨海寮



葛西沖埋立前



葛西沖埋立後

# えどがわ百景とは

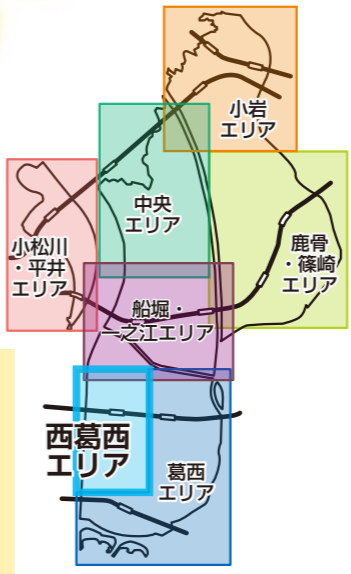
江戸川区では、まちの魅力を更に高めるため「好きな景観」や「気になる景観」を募集し、平成22年に「えどがわ百景」を選定しました。その後見直しを行い、平成30年4月より133の景観ポイントを「えどがわ百景」として位置付けています。



## えどがわ百景 探訪マップ

えどがわ百景をより楽しんでいただくため、エリア毎に「えどがわ百景探訪マップ」を作成しています。

マップは各区民館やコミュニティ会館などで配布しています。



### 徒歩の駅とは

様々な地域資源ネットワークで結び、途中で情報交流やお休み処として徒歩の駅を設定しています。手洗所やベンチがあります。



江戸川区は、誰もが安心して暮らせる共生社会の実現に向けて、SDGsに積極的に取り組んでいます。17あるゴールの中で、えどがわ百景事業はNo.11「住み続けられるまちづくりを」、探訪マップでまちあるきをするのは、No.3「すべての人に健康と福祉を」につながります。



発行日：平成30年4月  
改定日：令和4年7月  
発行：えどがわ百景幹事会  
事務局：江戸川区都市開発部都市計画課  
電話 03-5662-6369  
作成協力：景観まちづくりワークショップ  
<徒歩の駅グループ>  
作成支援：街づくり推進コンサルタント派遣制度  
参考文献：「江戸川区の史跡と名所」平成20年1月  
江戸川区教育委員会  
「理想のまちづくり半世紀の航跡江戸川区政50年史」  
平成13年3月江戸川区



